

## 第 34 回 一宮市地域公共交通会議議事録

### 【開催日時】

令和 4 年 1 月 7 日（金） 10：00～12：14

### 【開催場所】

一宮市本庁舎 11 階 1101 会議室

### 【出席者名簿】

別紙参照

### 【傍聴人】

5 人

### 【議事内容】

#### 1. 開会

#### 2. 会長及び副会長の選出

- ・事務局より委員の互選により選出する旨を説明。

《意見・要望》

○吉田委員、加藤委員は、会議発足当時から尽力いただき、二人とも学識経験があり、高い見識を備えている。一宮市外の地域の状況や国の施策など専門的な情報にも精通しており、引き続き吉田委員に会長を、加藤委員に副会長をお願いしたい。

《互選の結果：会長 吉田委員、副会長 加藤委員》

#### 3. 議題

##### 報告事項

(1) 一宮市内バス路線等の利用実績

- ・事務局より一宮市内を運行する路線バス（iーバス、名鉄バス）、iーバスミニの利用実績を報告

### 《追加報告》

○名鉄バスについては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、令和3年夏以降利用者が順次戻り始めた。江南団地線については前年度比52%となっているが、減便に伴う減少であり、便ごとの利用者数を比較するとそれほど影響はない。

全路線では12月で前々年度比80%まで利用者数が回復してきたが、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が再び起こっており、今後影響が予想される。(バス事業者の委員より追加報告)

### 《意見・要望》

○バスの利用者数は新型コロナウイルス感染症の第何波によって上下し、回復しているが元の数字には戻らない。高齢者において影響が大きく、特に田舎では顕著である。一宮は都市部の方なので、田舎に比べると少ないが、回復が遅いという特徴がある。大学生はオンライン授業により戻ってこない。また、大企業に勤める方は在宅勤務が認められ戻ってこない。東急沿線では特にテレワークに変わったところが多く、バスの本数の見直しも必要となるほど影響がある。新規利用者に乗ってもらうにはどうしたらよいか考えなくてはいけない。オミクロン株の話はここ数日で出てきたばかりだが、利用者が減少するのは間違いないと思う。以前に比べると減少は少ないが、この1年くらい一宮市としての対応を考えないといけない。一方で、車の利用者は増えており名古屋への移動は車に大きく移っているといわれている。しかし、公共交通で感染が起きるわけではなく、移動した先で感染が起きているので、乗るだけで感染が怖いというのは違うと理解してもらうことが大事である。市も広報していると思うが、引き続き周知に努めてもらいたい。

○バスについて、県内の10月のデータをもとに一昨年と比較すると平均で8割くらいまで回復してきた。しかし名古屋を除くと6～7割。減少として顕著なのはトヨタ関連。オミクロン株の影響で、1、2月は減少が予想されるが、例年1、2月は利用者が減ってくる時期である。減少が例年通りなのかオミクロン株の影響なのかについては注視して

いく必要がある。一方でタクシーは約5割減で底を打ち、回復してきたが、約7割減までしか戻ってきていない。乗務員不足の影響が大きく、車があっても配車できないこともある。年末に雪が積もった際には、配車が足りず、帰れない方がいたと聞いている。一宮、稲沢はタクシーの拠点があり、実感はないかもしれないが、県内ではこういった状況も見られる。

(2) 名古屋鉄道(株)とのタイアップ事業における一宮おでかけバス手形の取り扱いについて

- ・事務局より名古屋鉄道(株)とのタイアップ事業における一宮おでかけバス手形の取り扱いについて報告

《意見・要望》

○資料において主語がないが一宮市が書いたものか。

→この資料は商工観光課で作成した。

○資料の中で一日乗車券と書いてある。おでかけバス手形は平日昼間だから一日乗車券ではない。一日乗車券を新しく出すことを考えているのか。また、時間指定がある中でモーニングというのは大丈夫なのか。繊維産業の産業観光はバス路線でできるのか。

→モーニングの時間は11時まで、店舗によって一日やっているところもある。この切符をもっている場合は時間を延長してもらうことを交渉中。一日乗車券という表現をしましたが、おでかけバス手形を指している。訂正する。産業観光については電車を利用して一宮駅で降りたあと、そこからのバス路線上に近い場所を集中的にチラシに掲載する。日帰りの旅行を想定しており、何か所も行くのは難しいので、起方面の路線等に集中して案内することを検討している。また駅周辺で楽しめるプログラムも検討している。

(商工観光課より説明)

○事務局ではなく商工観光課が作成したものであれば間違いも許容できるが、このようなことが起きないようにワーキンググループを作ってやっていくのがよいのではないかと。

○商工観光課と各企業が連携し、おでかけバス手形とうまくタイアップさせてほしい。

○名鉄さんがやっていることに一宮市として何をやろうとしているかがわからない。もう少し具体的に打合せをやってもらいたい。

→ご意見を参考に検討する。

### (3) 社会福祉法人の協力による買い物支援の実施状況について

- ・事務局より市内で実施されている社会福祉法人の協力による買い物支援の概要を報告

#### 《意見・要望》

○コロナ禍で減ってきてはいるが、継続されていくことへは敬意を表したい。何か事故が起きた場合の支援を考える必要があると思う。

○社会福祉法人は名前を伏せないといけないのか。また、どこのスーパーに行っているかわかるとiーバスミニがどこへ行くか考えるときの参考になる。iーバスミニは近くの停留所へ行くのが基本だが、それでは利用されない可能性が高い。むしろスーパーや公共施設の停留所へ行く方がよい。乗り継ぎだけでなく、用事があってそこで買い物をして帰るといった複合効果が出る。その行き先を考える際の参考にできる。次回以降同様の資料を出すのであればぜひ行き先を載せてほしい。

→この資料は高年福祉課で作成した。ご意見を参考に次回わかりやすい資料にできるよう検討する。

○高年福祉課で作成したものであれば、その旨書いてほしい。その方が議論しやすくなる。

○意見ではなく感想だが、障害者施設で働いており、職員不足でドライバーも事務職も大変な思いをしている。そのような中でこういった取り組みをされていることはすごく素晴らしいと思う。回数をみても素晴らしいと思う。どのようにスタートして、どのような仕組みでやっているかお伝えできたら良いと思う。

## 協議事項

(1) iーバス尾西北コース『小信中島小学校』停留所の位置変更について」

- ・事務局より iーバス尾西北コース『小信中島小学校』停留所の位置変更について説明

《追加説明》

○交差点から離れており安全が確保されているので問題ないと思う。(警察の委員より追加説明)

○設置位置等について、歩道の車道よりであり、支障はない。占用箇所の変更となるので、本会議で承認を得られた後、速やかに変更修正書を提出してほしい。(建設事務所の委員より追加報告)

《意見・要望》

○事由に宅地開発の予定があり私道整備とあるが、宅地開発はどこまで進んでいて、私道が供用されていて出入りができる状況なのか。実施予定日が4月1日という説明だが、交差点に車体がかかる状況は好ましくないので、できるなら早くやってほしい。運行法の手続き上は移設だけであれば完了した段階で速やかに届出してもらえばよいので、何か危険が生じる状況であれば早くやってほしい。

→田んぼを埋め立てて住宅の宅地造成工事が予定されている。危険のないよう宅地開発をお願いしている。具体的には交差点にかからないようにすること、死角にならないようにすることを市の関係部署や建設事務所と打合せながら進めた。今の状況は工事が始まっており、田んぼを埋め立てている最中で、一部側溝ができている状態。

○4月1日から運行開始でよいか。

→はい。

○私道の整備自体は終わっているか。

→まだ整備中である。

○供用開始が4月1日か。

→3月末完成予定と聞いているので、それ以降で供用開始後、バス停移設と考えている。

《協議結果：承認》

(2) 一宮おでかけバス手形の取り扱いについて

- ・事務局より令和元年度から令和3年度11月までの販売状況について報告。今年度と同様の内容で、実施期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間で名鉄バスから販売することについて協議する旨説明。

《追加説明》

○次年度についても販売することについて社内で整っている。本日合意をもらえたら一宮市と協議した上で次年度も販売したい。(バス事業者の委員より追加説明)

《意見・要望》

○乗車数は令和3年度は令和2年度にくらべて回復傾向にあったと思うが、今回おでかけバス手形については若干減少気味だという傾向が読み取れる。この理由を知りたい。

→推測になるが、外出を控えていることが原因と思われる。新型コロナウイルス感染症の影響で減っていると考えている。

○高齢の方が外出を控えていると考えられるが、購入者の年齢層はわかるか。行き先はどこかわかるか。

→事務局では資料を持っていない。

→公共施設の利用は多いと思う。ただし、コロナ禍で公共施設が閉鎖されており、施設の使用が若干減少している。また、お出かけする人も複数箇所へ行くのではなく、目的地に行きすぐ帰ることが多い傾向にある。1往復だけの場合、運賃が手形の金額を超えないため購入が減少したと推察している。(バス事業者の委員より回答)

○おでかけバス手形を詳しく知らない。買ったことがないが、16時を過ぎたら料金は追加で払うのか。買った人は了承しているのか。

→資料におでかけバス手形が載っており、そこに書いてあるとおりだ。

○時間をすぎると追加料金がかかるのか。

→当然そうなる。これがダイヤ上の16時かは一宮市は不明確だが、通常はダイヤで16時までということが多い。(副会長より説明)

→ダイヤで16時までにつくなら追加料金は不要である(バス事業者の委員より説明)

○なぜ1年単位で更新制なのか。どうなったら更新制でなくなるのか。もしくは予算の関係でずっと単年度なのか説明してほしい。

→現在は試行でお願いしているが、今後試行を取った形で進めていこうと名鉄バスと打合せ中である。(事務局より説明)

→最初は実証ということで1年ごとでやっていたが、その後も600円でいいのか1年ごとに確認したいという理由で1年更新となった。700円で固定してやっていけるなら1年更新でなくてもよいと思う。実際往復で長い区間乗る人が多かったので700円にしたところ利用者が大きく減ったということがあった。ただし、スクラッチの紙でやってるため、正確なことは分からない。運転手や窓口の人に聞くことはできるが、推測しかない。今回のデータからはコロナ禍の影響は少なく、値段を上げたことで往復で長い区間乗る人が使わなくなった影響のほうが大きかったという結果なのかと思う。(副会長より説明)

→販売数の減少は、コロナ禍の影響と、販売額の増額の複合的な要因と考えている。(バス事業者の委員より説明)

→令和2年度であれば、その説明でよいと思うが、乗車数が回復しているため、令和3年度になったらより減ったというのは、単純に値段をあげたことが影響したと思われる。

(副会長より説明)

→コロナ禍の影響で1往復だけの利用が増えており、運賃がおでかけバス手形の金額を超えないため購入しなくなったという影響が大きいと感じている。(バス事業者の委員より説明)

→確かにそういう点ではコロナ禍の影響ということができる。結局データがないため推測でしかわからない。どのように利用されているか調査しなければならないと思った。

(副会長より説明)

→紙でスクラッチという方法は簡単に発売できるという利点がある。調査のためだけにICチケットというのも技術的に難しい。利用状況の調査をするにはOD調査やアンケート調査をやらなければならない。(バス事業者の委員より説明)

○デジタルチケットの導入も可能かについては次の計画策定で議論すればよいか。

→第3次公共交通計画の中でいろいろと考えていきたい。

《協議結果：承認》

### (3) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

- ・事務局より令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について説明

《追加説明》

○今回はコロナ禍で大きく減少したためCとしているところが多いがコロナ禍は不可抗力なのでそれでCというのはおかしいと思っている。Aは付け難いとしてもBであればおかしくないのではないか。ここでいう年度は10月から9月の年度なので、一昨年はコロナ禍前が入っている。そういったことも踏まえて書き足してもよいと思う。(副会長より追加説明)

○コロナ禍で利用が減ったというのは全国どこでも同じである。そういうことを書くのではなく、コロナ禍においてもそれなりに利用者はおり、一宮では現在増えてきているので、補助金が投じられたことで、利用者の役に立っているということを書いてほしい。最初の報告であったとおり利用者数は各月で見てもらっていると思うので、それを踏まえて書いてほしい。(運輸支局の委員より追加説明)

本日いただいた意見を評価に反映させ指摘のあった事項については修正し手続きを進めてください。時間的な制約の都合上、修正後の内容確認については会長・副会長に一任ということで合意をいただきたい。(会長より追加説明)

《意見・要望》

○ iーバスミニの対策ですが、社会福祉協議会の送迎でどこへ高齢者が向かっているのか分析をしてもらいたい。コロナ禍でかかりつけ医の大事さが見直されている。かかりつけ医の近くにバス停がない場合どうやって行くのか。福祉部門との連携をしてどうしていくのか考えてほしい。

《会長・副会長に一任する旨の協議：合意》

#### 4. その他

##### (1) バス停留所の安全性確保対策について

- ・事務局よりバス停留所の安全性確保対策について説明

《追加説明》

○ iーバスを含めて19か所。名鉄バスとしてはBとCランクで16か所。Bランク3か所、Cランク4か所を移設予定。それ以外の箇所は協議中。(バス事業者の委員より追加報告)

○一昨年12月に検討会を立ち上げ、当初は県内で520か所、問題のあるバス停がリストアップされた。12月末現在で101か所の改善が進んでいる。関係者の協力もあり順調に進んでいる。バス停の道路検討会を中心に検討を進めているが、バス停ごとにさまざまな事情があり、時間がかかってしまう。その間にも事故が起きてはいけないうでチラシを配って啓発をしているが、ぜひ気を付けてほしい。(運輸支局の委員より追加説明)

##### (2) 一宮駅バス案内路面標示の設置について

##### (3) ボランティア輸送支援の実施状況について

- ・事務局より上記2項目について説明

《意見・要望》

○ボランティア輸送について他の市へ行っているのが気になる。一宮市内で完結する輸送にしてほしい。

○ボランティア輸送支援の実施状況で交通手段に問題がある地域に丹陽と朝日と聞いた。が、他に今後必要だと思われる地域はどれくらいあるか。

→今地域の方で積極的に取り組みたいというところは2か所ある。市内全域で何か所あるかは把握していない。

○やろうとしている地域ではなくて、市として交通手段に問題がある地域と把握している地域がどのくらいあるか知りたい。

→一宮駅に出ることを考えたら基本的には不便といわれる所はないという計画になっている。丹陽だと、一宮駅じゃない所へ行きたい人がいて、そのように場所を選ぶとしたら不便。本当の不便地域とは少し違う。市としてはそのような地域の把握はしていない。計画からしてもする必要がないとなっている。来年度が今の計画の最終年度なので、そういうことも議論してやっていくのか、この会議の議論で決まってくる。一宮駅に行くことができる方が最優先になると思うが、私は他に行くのは意味がないとは全く思っていない。丹陽はずっとそういう問題があって、議論して試行もやったがうまくいかず、今のやり方になっている。来年度本格的に議論するとよいと思う。(副会長より説明)

(4) シルバーパス 65・ゴールドパス 70 の購入費用の一部負担について

(5) iーバスで市内の名所をめぐる案内チラシについて

・事務局より上記2項目について説明

《追加説明》

○シルバーパス 65・ゴールドパス 70 についてずっと持ち続けている人が名鉄バス全体で約2250人、うち、一宮市の人が約260人。コロナ禍でバス事業全体の数字が下がり続ける中で数少ない右肩上がりの商品になっている。高齢者に期待してもらっている商品だと思うので、引き続き協力いただきたい。

(6) 第3次一宮市公共交通計画の策定について

- ・事務局より第3次一宮市公共交通計画の策定について説明

《追加説明》

○一宮市は大きい市なので、調査も大きくなる。先ほどから話があるように利用しやすいものにするには地区別に考えなければならない。また、高齢者と高校生では対策が全く違う。そういった細部についてはコンサルにも手伝ってもらう必要がある。大きい会議を回数行うのは大変なので、地元委員だけで集まるとか、事業者だけで集まるということをして1, 2回行い、詰めた議論をしたい。次回は4, 5月になると思うが、1年間どうやっていくか具体的なことを示してほしい。

→予算を認めてもらってからになるが、副会長と相談し案をいくつか練っていききたい。会議はできるだけ早めに日程調整できるように考えている。

(7) その他

○只今 MaaS の実証実験を行っていきまして、複数のモビリティを組み合わせ、新たなサービスを提供していくという事業を県としてやっている。マイルートというアプリの実証実験を行っている。今秋開業予定のジブリパークに向けての取り組みであり、東部丘陵地域を中心に行っているが、全県のコミュニティバスが検索できるので、ぜひ利用してほしい。パーク アンド ライドも検索できるので、豊田スタジアムでのイベント時に利用してほしい。(愛知県都市交通局の委員より説明)

○日本バス協会からのチラシ「公共交通の安心利用」「感染防止対策を徹底」を配布した。バス事業者は感染対策を徹底しているので、安心安全に出かけてほしい。

5. 閉会